

小学校5・6年生～

2026年9月 no.99

よんでネット* 2026 秋号

発行口茅ヶ崎市立図書館／協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会

パッチワーク

マット・デ・ラ・ペーニャ文 コリーナ・ルーケン絵 さくま ゆみこ 訳



人から言われる“自分”と きみが思っている“自分”が
ちが違って悩んだり。自分の中の気持ちがい違って
混ざり合ってしまうことはありませんか？ でも
——それがみんな、きみの音や色になる。

きみは、ブルーでピンクで、さびしくて、うれしい。

ときとともに集まったさまざまなものがぬいあわさって、

きみというパッチワークができていく。——

岩波書店【E・絵本のコーナー】

わたしの名前はオクトーバー

カチャ・バーレン 作
こだま ともこ 訳

10歳のオクトーバーは、森の中で父親とふたりきりで暮らしている女の子。学校には行かず、友だちはいないけれど、土の中の宝物を探したり、星空に遠吠えをしたり、自由で「野生」的な森の生活が大好き。

ところが、11歳の誕生日に父親が大怪我をして入院してしまう。大切にしていたメンフクロウとも離れられ、大都会ロンドンにいる母親と暮らすことになったが…。



評論社【933バ】

奇妙で不思議な 菌類の世界

ウェンジア・タン 絵 リン・ボディ文

白水 貴 監訳者 斉藤隆央 訳者

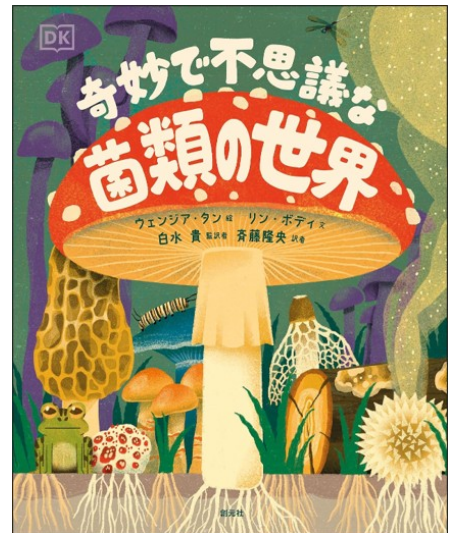
「^{きんがい}菌類」というと、何を思いうかべる？

代表的なのは、きのこやかび、他にもなんと、

およそ 400 万もの種類がある。

食品や薬になり、^{どく}毒にもなる。動物の友だちになったり、時には動物を好きなようにコントロールすることもある。わたしたちの体の中にも…。

地球上に欠かせない菌類。その不思議な世界をのぞいてみよう。



創元社 [47 ポ]

声が聞こえた で始まる 七つのミステリー

小森 香折

「声が聞こえた」お風呂に入っていたら、マンションの隣^{となり}のうちにから…

「声が聞こえた」体育館の用具室から…

「声が聞こえた」夜の道を歩いていたら…

この本の七つの短いお話は、どれも「声が聞こえた」という一文で始まります。ドキドキする展開^{てんかい}が続くけれど、ホラーではありません。読み終わると心がほっこりする話ばかり。

気になるタイトルの話だけ読んでも楽しめます。



アリス館 [913 コ]